

Qu-Pad v1.9 Help Guide

Qu-Pad
Qu Series App for iPad



■目次

Qu-Pad Help – セットアップ	3
1.1 必要条件.....	3
1.2 ワイヤレスネットワークのセットアップ.....	3
1.3 iPad への接続.....	4
1.4 接続に問題がある場合.....	4
1.5 ミキサーのファームウェアのアップデート方法.....	5
1.6 ミキサーを完全にリセットする方法.....	5
Qu-Pad Help – 操作方法	6
1.1 Qu-Pad レイアウト.....	6
1.2 処理画面 - ライブミキシング.....	7
カスタムレイヤー.....	8
プロセッシングタブ.....	8
1.3 セットアップ画面.....	9
ストリップ.....	9
オーディオ.....	10
コントロール.....	10
USB データ.....	11
ユーティリティ.....	11
1.4 ホーム画面.....	11
1.5 Scenes 画面.....	12
1.6 IO パッチ画面.....	13

Qu-Pad Help – セットアップ

Qu ミキサーは、iPad を使用してセットアップとコントロールが可能です。iPad は、ネットワークポートに接続されたワイヤレスルーターを介してミキサーに接続します。これにより、ミキサー用のプライベート Wi-Fi ネットワークが構築されます。インターネットやその他のネットワークにアクセスすることはできません。

1.1 必要条件

接続台数 - Qu は、Qu-Pad が実行している iPad 最大 2 台を含む最大 8 台までの接続に対応しています。他は Qu-You で対応可。

アプリ - Apple Store から Allen & Heath **Qu-Pad** ミキシングコントロールアプリを入手することができます。また、iPad、iPhone、iPod Touch などの iOS デバイスを使用してミュージシャンのパーソナルモニターをコントロールする **Q-You** アプリも入手可能です。Android デバイス向けには、Google Play から Qu-You のバージョンが入手できます。これらのアプリケーションは無料で、すべての Qu ミキサーで使用できます。

Qu ミキサー - Allen & Heath Qu ミキシングコンソール (**V1.9** ファームウェア) とそのネットワークポートに接続された無線ルーター (無線 LAN アクセスポイント)。対応するミキサー: Qu-16、Qu-24、Qu-32、Qu-Pac、Qu-SB

バージョン番号 - Qu ミキサーファームウェアと Qu-Pad のバージョンに互換性がある必要があります。どちらも同じ機能バージョン番号 (例えば V1.9) で動作しなければいけません。メンテナンスバージョン番号は異なっても構いません。例えば、Qu-Pad V1.90 は Qu mixer V1.91 で動作します。

iPad - Qu-Pad は iOS7.1 以降を搭載した全モデルの iPad に対応しています。iPad1 は非対応です。本資料リリース時の iOS 最新バージョンは iOS9 となります。

Qu-Pad は大量の処理とメータリングのデータを扱います。最高のパフォーマンスを得るために、バックグラウンドで動作している他のアプリケーションをシャットダウンしてください。セッションに使用する前に iPad が充電されていることを確認してください。

ワイヤレスルーター - Qu-Pad は、相応に高い性能、品質、信頼性を持つネットワーク機器を正当化するプロフェッショナルなミキシングツールです。最良の結果を得るには、自動チャンネル選択機能付きのデュアルバンド (2.4 および 5GHz) ワイヤレスルーター (ワイヤレスアクセスポイント) を使用します。これは、電源を入れたときに、利用可能なチャンネルまたは混雑していないチャンネルに自動的に設定できます。

1.2 ワイヤレスネットワークのセットアップ

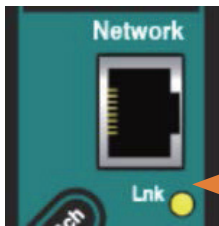


ワイヤレスルーターのセットアップ - Cat5 ケーブルを使用して、ルーターと PC または Mac を接続します。ルーターの製造元が提供する説明書に従って、そのセットアップメニューにアクセスします。セットアップが完了したら、ルーターをコンピューターから取り外し、Cat5 ケーブルを使用して Qu ミキサーのネットワークポートに接続します。

ⓘ : セキュリティのため、ルーターのパスワード (キー) を設定することをお勧めします。ルーターの SSID (名前) を変更して、デバイスに表示されるリストでネットワークを識別することもできます。

ルーターの位置 - ルーターを高い位置に配置し、人や機器などの障害物を避けます。柱や壁の後ろ、金属製の梁の近く、またはスピーカーの上に置かないでください。

1.3 iPad への接続



Qu ネットワークアドレス - ミキサーには、ルーターと互換性のある TCP/IP (ネットワーク) アドレスが必要です。Qu のデフォルトでは DHCP が有効になっており、接続するとルーターが自動的にミキサーに互換性のあるアドレスを割り当てます。ミキサーのアドレスが変更され、Qu-Pad が接続されない場合は、ネットワーク設定を確認してください。ミキサーのユーザーガイドを参照してください。

ルーターの電源を入れる - ルーターが起動するのを数分待ちます。リンクが確立されると、ネットワークポートインジケーターが点滅します。

iPad を Qu ネットワークに接続する - iPad の **Settings / Wi-Fi** 画面を開き、「NETWORK」リストでルーターを選択します。ルーターがリストにない場合は、送信が確立するまでしばらくお待ちください。iPad が良好な信号強度を示していることを確認します。

Qu-Pad アプリを起動する - アプリは Connection ページで開きます。リストから Qu ミキサーを選択し、「Connect」をタッチします。3 つの Users から 1 つを選択します。パスワードが設定されている場合は入力します。ログインすると、アプリは **Processing** ページで起動します。

① : アプリのバージョンは、Qu ミキサーのファームウェアのバージョンと互換性がある必要があります。そうでない場合、アプリはミキサーに接続できません。

iPad との接続を解除する - ミキサーとの接続を解除し、Qu-Pad のログインページに戻るには、画面左上のログアウトボタンを使用します。これにより、アプリは開いたままで再びログインできる状態になります。ミキサーとの接続を解除してアプリを閉じるには、iPad のホームボタンをダブルクリックし、アプリを画面外にスワイプするだけです。

アプリは、数秒以上圏外になることでミキサーとの接続を失うと、ログイン画面に戻ります。オレンジ色のシグナルアイコンが表示され、このような事態が起こる可能性があることを警告しています。

① : 今後、ゲストエンジニアがパスワードなしで自分の iPad をネットワーク上で使用することを防ぐには、ゲストエンジニアの iPad の設定 Wi-Fi メニューであなたのネットワークを選択し、「Forget this network」機能を使用します。



ユーザープロファイルは 3 つあります。

Admin - すべてのセットアップとミキシング機能にアクセスできます。

Standard - ライブミキシングのみ。すべての処理にアクセスできます。

Basic - ライブミキシングのみ。フェーダーとミュートのみにアクセス可能。

1.4 接続に問題がある場合



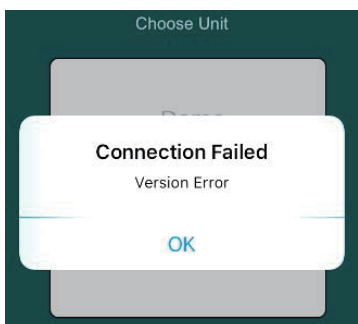
Qu-Pad のログインリストに Qu mixer が表示されない - ミキサーとルーターのネットワークアドレスに互換性がない可能性があります。ミキサーのネットワーク設定画面で DHCP がオンになっていることを確認してください。

Qu-SB では、フロントパネルの凹型スイッチを赤いインジケーターが点滅し始めるまで押し続けると、DHCP のデフォルトにリセットできます。

Connection Failed - Version Error - ログイン時にこのメッセージが表示された場合、アプリとミキサーのファームウェアに互換性がありません。

① : Apple Store では常に最新の Qu-Pad を無料でダウンロードできます。ミキサーのファームウェアをアップデートする前にアプリがアップデートされるのを防ぐため、iOS デバイスの自動アップデート機能をオフにしておくことをお勧めします。最新の Qu ファームウェアをダウンロードするには、www.allen-heath.com をご確認ください。

Wi-Fi の電波は良好だが接続が悪い - Wi-Fi の干渉が原因である可能性があります。無線 LAN ルーターの位置を変えるか、再起動してみてください。それでも問題がある場合は、ルーターのチャンネル設定を自動から固定に変更してみてください。チャンネル 1、6、または 11 から始めてください。inSSIDer などの Wi-Fi ネットワークスキャナを使用すると、地域のワイヤレスアクティビティを表示し、最も混雑していないチャンネルを見つけることができます。



1.5 ミキサーのファームウェアのアップデート方法

V1.Fm →



バージョン番号 - アプリとミキサーのファームウェアに互換性がある必要があります。機能リリース番号 'f' は両者で同じでなければなりません。メンテナンスリリース番号 'm' は同じである必要はありません。

USB デバイスのフォーマット

Qu のファームウェアは、USB デバイス（キーまたはハードディスク）を使ってアップデートします。デバイスを使用する前に、Qu ミキサーでフォーマットしなければいけません。これは一度行うだけです。USB デバイスは Qu ミキサーのみで使用できるように保管してください。Qu-Pad **Setup** 画面 **Qu-Drive** ユーティリティを使用して、USB デバイスをテストし、フォーマットしてください。

①：フォーマットすると、ドライブ上の既存のデータはすべて消去されます。

ファームウェアのアップデート

Step1 ファームウェアのダウンロード - Allen & Heath 社の Web サイトにアクセスし、最新のファームウェアをダウンロードしてください。お使いの Qu モデルに対応したファームウェアを選択します。リリースノートをお読みください。

Step2 USB から以前の Qu のファームウェアを削除する - Qu は最初に見つけたバージョンをロードしようとするので、以前のファームウェアファイルを削除することが重要です。ファームウェアファイルは USB デバイスのルートディレクトリにあり、.QUU という拡張子を持っています。

ステップ 3 .QUU ファイルを USB のルートディレクトリに展開する - ダウンロードしたファイルをコンピュータで解凍し、展開した .QUU ファイルを USB デバイスのルートディレクトリに置きます。

ステップ 4 ファームウェアのアップデートを実行する - USB デバイスを Qu-Drive ポートに接続します。Qu-Pad またはミキサーの **Setup** 画面のファームウェア・アップデート・ユーティリティを使用します。

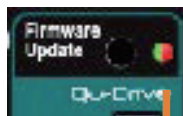
Qu-SB の場合、iPad を使用してファームウェアをアップデートするか、iPad を接続せずにフロントパネルの凹型ファームウェアアップデートスイッチを使用してアップデートすることができます。

先の尖ったものを使って、凹型ファームウェアアップデートスイッチを押し込んでください。インジケーターが点灯し、USB デバイスで見つかったファームウェアのステータスを表示します。続行する場合は、スイッチを 3 秒以上押し続けると更新が開始されます。

ミキサーがアップデートを行う間、インジケーターは 1～2 分間、赤く点滅します。アップデートが開始されたら、スイッチを放してください。接続されている全ての Qu-Pad と Qu-You デバイスが切断されます。アップデートが完了すると、緑のダブルパルスが表示されます。ミキサーが再起動します。Qu-Pad にログインし直します。新しいバージョンが **Home** と **Setup** ユーティリティの画面に表示されます。

①：ファームウェアのアップデート中は、USB デバイスを取り外さないでください。

USB ファームウェアの検出。
 緑色の点滅 = 新しいバージョン
 緑色の点灯 = 同じバージョン
 赤色点滅 = 古いバージョン
 赤色高速点滅 = 見つからない



1.6 ミキサーを完全にリセットする方法

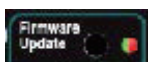


Qu ミキサーの設定を完全にリセットし、メモリをクリアしたい場合は、パワーアップハードリセットが可能です。

①：ハードリセットは、現在の設定、すべてのシーン、ユーザーライブラリー、ユーザー権限をクリアします。

Qu-16、Qu-24、Qu-32、Qu-Pac の場合、フロントパネルの Reset キーと Setup キーを 5 秒間押しながらミキサーの電源を投入してください。

Qu-SB の場合、ミキサーの電源を投入する際に、先の尖ったものを使って凹型のネットワーク / ファクトリーリセットスイッチを押し続けてください。インジケーターが緑に点滅したら離します。



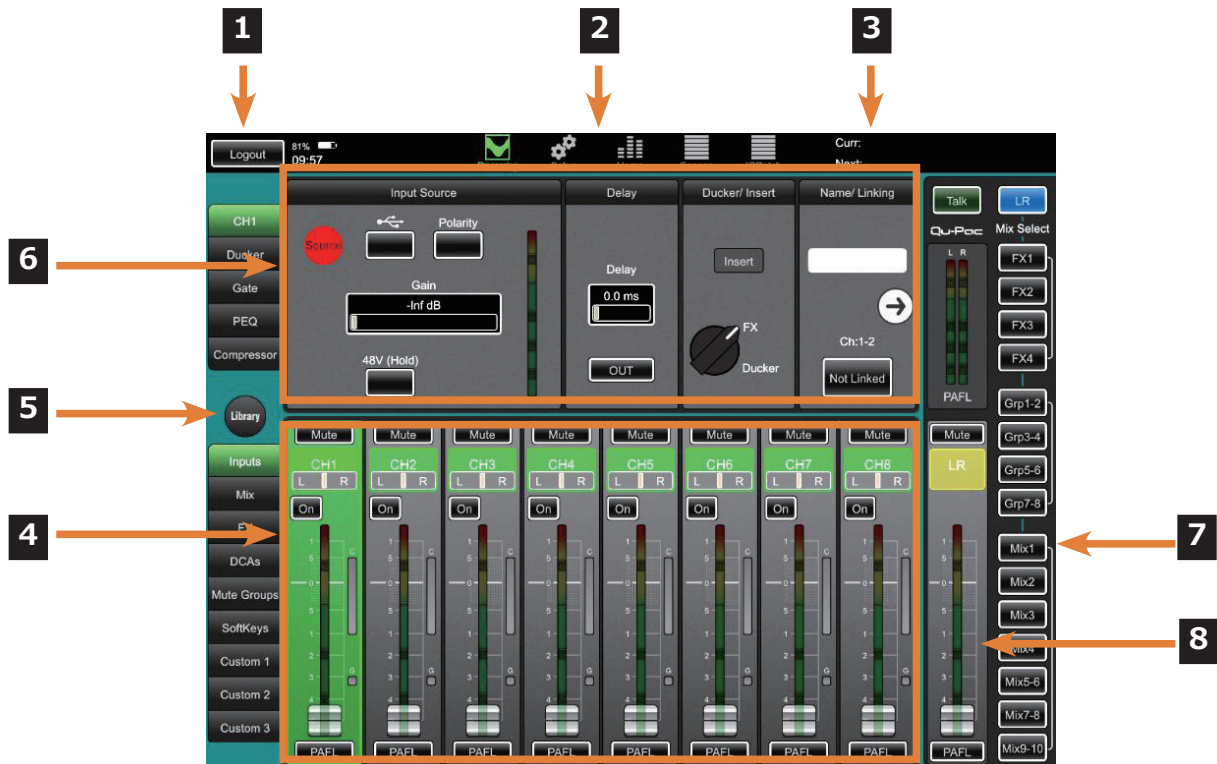
Qu-Pad の使用方法については、**Setup** ページの Help タブにあるヘルプマニュアルと、www.allen-heath.com からダウンロードできる Qu Reference Guide から詳細をご覧ください。

Qu-Pad Help - 操作方法

iPad 用アプリ「Qu-Pad」を使って、セットアップや操作など Qu ミキサーの全機能にアクセスすることができます。このヘルプは、Qu-Pad でミキシングを始めるためのクイックガイドを提供します。詳細については、Allen & Heath のウェブサイトからダウンロードできる最新版の Qu Mixer Reference Guide を参照してください。

www.allen-heath.com/key-series/qu-series.

1.1 Qu-Pad レイアウト



- 1 ログアウトボタン**：アプリを切断して閉じるには、iPad のホームボタンをダブルクリックし、アプリを画面外にスワイプします。アプリを開いたままミキサーから切断するには、ログアウトボタンにタッチします。
- 2 ページ選択ボタン**：タッチして各ページを開きます。Qu-Pad はライブミキシングの **Processing** ページが選択された状態で開きます。他のページは、Setup、Home、Scenes、IO Patch です。
- 3 シーン・ステータス**：Current シーン（電源投入後最後に呼び出されたシーン）と Next シーン（呼び出し準備完了のハイライト）の名称を表示します。
- 4 フェーダーストリップ**：下部パネルには、ライブミキシングのためのフェーダーストリップが表示されます。左側のタブを使用して、チャンネル、FX、マスター、DCA、ミュートグループ、ソフトキーにアクセスします。また、これらの組み合わせで最大 3 つのカスタムレイヤーを割り当てることができます。タッチしてストリップを選択します。
- 5 チャンネル処理**：上側のパネルには、フェーダーストリップ上で緑色にハイライトされている選択されたチャンネルに関連する処理が表示されます。左側のタブを使用して、その処理パラメータにアクセスします。Qu-Pad は LR 処理を選択した状態で開きます。
- 6 Library**：タッチすると、現在選択されている処理タブの Library ウィンドウが下側パネルに表示されます。ファクトリーライブラリ（固定）とユーザーライブラリ（編集可能）が利用できます。
- 7 ミックス選択ボタン**：タッチして別のミックスを選択します。フェーダーストリップが青く点灯し、そのミックスへのセンドとなります。この方法でミックス、グループ、FX を操作することができます。ミックスボタンをもう一度タッチするか、LR をタッチするとメインミックスに戻ります。
- 8 Mix Master ストリップ**：このフェーダーストリップは、右側のボタンで選択されたミックスのマスターとなります。

1.2 処理画面 - ライブミキシング

ライブミキシングのメイン画面です。2つのパネルがあります。上側のパネルには、選択されたチャンネルの処理が表示され、左側のタブで処理の種類を選択します。下側のパネルにはフェーダーストリップが表示され、左側のタブで異なるレイヤーを選択できます。右側にはミックスセレクトキーを備えたマスターストリップがあります。



チャンネル処理の選択 - チャンネルストリップをタッチします。ストリップが緑色にハイライトされ、左上のプロセッシングタブに選択されたチャンネルの番号とタイプが表示されます。Qu-Pad は LR マスターを選択した状態で起動します。

ミックスの選択 - 右側のミックスボタンをタッチすると、フェーダーストリップを使用してそのセンドレベルとルーティングを表示し、調整することができます。現在のミックスボタンが青くハイライト表示されます。ストリップは青色に変わり、LR ミックスを終了したことを示します。ミックスボタンの横のストリップが選択されたミックスのマスターとなります。もう一度同じボタンをタップするか、'LR' をタッチするとメインミックスに戻ります。

ⓘ：間違ったミックス調整しないように、他のミックスで作業した後は必ずメインミックスに戻してください。

フェーダーの調整 - フェーダーエリアの任意の場所をタッチし、上下にドラッグしてレベルを調整します。タッチしたまま指をフェーダーから左右に離すと、解像度が上がります。

ミュート - タッチしてチャンネル信号をミュートします。LR、FX、モニターへのセンドを含むすべてのミックスに送られる信号がオフになります。

On - このチャンネルから選択されたミックスへのルーティングアサインです。

パンの調整 - パンのボックスをタッチしてハイライト表示し、指を下にスライドさせて設定を確認し、左右にドラッグして調整します。

パラメータの調整 - コントロールは水平スライダーとして表示され、その値は上に表示されます。タッチして左右にドラッグすると、値が変更されます。タッチしたまま指をコントロールから上下に離すと、解像度が上がります。

フェーダーストリップ - 左側のレイヤー選択タブを使用して、異なるチャンネルタイプや独自のカスタムレイヤーを表示します。指を左/右にスワイプしてチャンネルをスクロールします。移動しているストリップをタップすると、スクロールが停止します。

PAFL - このボタンをタッチすると、ヘッドホンでチャンネル信号を聴き、メインメーターでそのレベルを確認できます。上部の赤いインジケータが点灯している場合は、ゲインまたはレベルを下げます。PAFL の動作モードは、[Setup / Audio / PAFL](#) のページでオプションを設定できます。

コピー / ペースト / リセット - フェーダーストリップまたはプロセッシングブロックをダブルタップして、編集ポップアップを表示します。"Copy" をタッチすると、関連するパラメータがコピーされます。別のチャンネルを選択し、ダブルタップします。"Paste" をタッチすると、コピーされたパラメータがそのチャンネルにペーストされます。"Reset" をタッチすると、関連するパラメータを工場出荷時の状態にリセットします。

Library - タッチすると、現在選択されているタブ（チャンネル、ゲート、PEQ、GEQ、コンプレッサー、FX）の Library ページが開きます。タッチして、Factory または User ライブラリプリセットを選択し、呼び出します。ファクトリーライブラリは上書きできません。ユーザーライブラリは、最大 100 個まで保存、名前付け、呼び出し、上書き、削除が可能です。チャンネル・ライブラリは、プリアンプの設定を含むすべての処理を保存しますが、プリアンプの設定付きで呼び出すか、設定なしで呼び出すかを選択することができます。

Library ボタンをもう一度タッチすると、Library が閉じられ、フェーダーストリップビューに戻ります。

カスタムレイヤー

Qu-Pad アプリ内で、チャンネル、マスター、コントロールストリップを自由に組み合わせて、**カスタム 1**、**カスタム 2**、**カスタム 3** のレイヤーを割り当てることができます。これらは iPad に保存され、シーンを使用して呼び出すことはできません。

Qu ミキサーは、サーフェスで利用できる独自の**カスタムレイヤー**もあります。これはミキサーに保存され、シーンを使用して呼び出すことができます。

iPad のオプションを使って、Qu-Pad のカスタムレイヤーの 1 つをミキサーのカスタムレイヤーに同期させることができます。

カスタムタブ 1 が Qu カスタムレイヤーオプションに従う - iPad 設定メニュー 'Qu-Pad' 項目に移動します。

- Off (デフォルト) = Qu-Pad は 'Custom 1'、'Custom 2'、'Custom 3' を提示します。これらはミキサーのカスタムレイヤーとは独立しています。
- On = Qu-Pad が 'Custom Layer'、'Custom 2'、'Custom 3' を表示します。'Custom Layer' はミキサーのカスタムレイヤーと同じです。カスタムレイヤーは Qu-Pad で割り当てることができます。

i : Qu-SB（サーフェスなし）を使用していて、ミキサーのカスタムレイヤーを割り当てて使用したい場合（例えば、カスタムレイヤーのみにユーザー権限を設定したい場合など）は、このオプションを ON にします。

プロセッシングタブ

CH - チャンネルのプリアンプ（ゲイン、極性、48V）の調整、ソース（ローカル、dSNAKE リモート、USB 再生）の選択、入力ディレイの設定、チャンネル名の入力が可能です。また、FX やダッカーのインサートの IN/OUT を切り替えることができます。右側の矢印をタッチして、Direct Out レベルとグローバルソース設定にアクセスします。左側の矢印をタッチすると、最初の表示に戻ります。

ミックス - このタブはミックスマスターを選択したときに表示されます。ミックスの Delay を設定し、Name を入力します。ミックスに FX が挿入されている場合、Insert のイン/アウトを切り替えることができます。右側の矢印をタッチすると、マトリックスセンドとそのミックスで利用可能なルーティングオプション（チャンネルパス内のソース、アサイン、プリ/ポストフェーダー）にアクセスできます。これらのオプションはミックスへのすべてのセンドに影響します。左の矢印をタッチすると、最初の表示に戻ります。

FX - FX センドまたはリターンストリップを選択すると、このタブが表示されます。関連する FX パラメータ、Name、リターン PEQ が表示されます。FX のタイプは、Library 機能を使用して変更できます。

Names - これらは Qu ミキサーに保存されています。名前はミキサーまたは Qu-Pad を使って編集できます。Name ボックスをタッチすると iPad キーボードが表示されます。Shift をダブルタップすると大文字でロックされます。'x' をタッチすると既存の名前が消去されます。名前は最大 6 文字まで入力できます。名前はフェーダーの上に表示されます。

Ducker - トリガーソースを選択し、チャンネル Ducker のパラメータを設定します。ダッキングは、'Single'（トリガーが選択したチャンネルだけをダッキング）または 'Gang'（トリガーがギャングに割り当てられた複数のチャンネルをダッキング）に割り当てることができます。

Gate - ノイズゲートの設定を調整します。パラメータボックスを使用するか、カーブ上のドットをタッチしてドラッグします。ゲートがオンになると、カーブは黄色に変わります。入力とゲイン低減メーターは、スレッシュホールド・ポイントを設定するのに役立ちます。

Compressor - チャンネルまたはミックスのコンプレッサーの種類と設定を調整します。パラメータボックスを使用するか、グラフ上のドットをタッチしてドラッグしてください。コンプレッサーをオンにすると、カーブが黄色に変わります。入力とゲインリダクションのメーターは、スレッシュホールドポイントを設定するのに役立ちます。

PEQ - PEQ バンドドットをタッチしてドラッグすると、HPF (ハイパスフィルター) を調整し、EQ を形成することができます。上下にドラッグするとゲインが調整され、横にドラッグすれば周波数を調整します。ドットをタッチしてバンドを選択し、Width スライダーを使用するか、ドットの左右を水平、斜め、または垂直にピンチしてバンドの幅 (オクターブ) を調整します。最も広く設定すると、LF と HF 帯はベル型ではなく、シェルビング型になります。PEQ のイン / アウトの切り替えや、EQ のフラットをリセットするためのボタンが用意されています。

GEQ - 28 個のスライダーが GEQ の設定を表示します。スライダーをタッチして指を動かすと、その設定値を調整することができます。スライダーをタッチして指を左右に動かすと、解像度が上がります。スライダーの上の領域は、RTA を表示します。ボタンで GEQ のイン / アウトを切り替えたり、EQ フラットをリセットすることが可能です。

RTA - GEQ スライダーの上に、現在の PAFL 選択による RTA (Real Time Analyser) が表示されます。1/3 オクターブの周波数帯域ごとに、信号の状態を緑色のメーターで表示します。優位周波数 (ピークバンド) は、メーターの上に赤い点で表示されます。モニタースピーカーを鳴らすときや、部屋の中で問題のある周波数を見つけるときに役立ちます。分析するチャンネルまたはミックスに PAFL が選択されていることをご確認ください。

DCA グループ - アサインされたチャンネルのレベルとミュートをコントロールします。通常、フェーダー位置「0」に設定すると、エフェクトはかかりません。PAFL をタッチすると、アサインされたすべてのチャンネルの PAFL モニターがオンになります。ストリップをタッチすると、アサインとネーミングのページが表示されます。

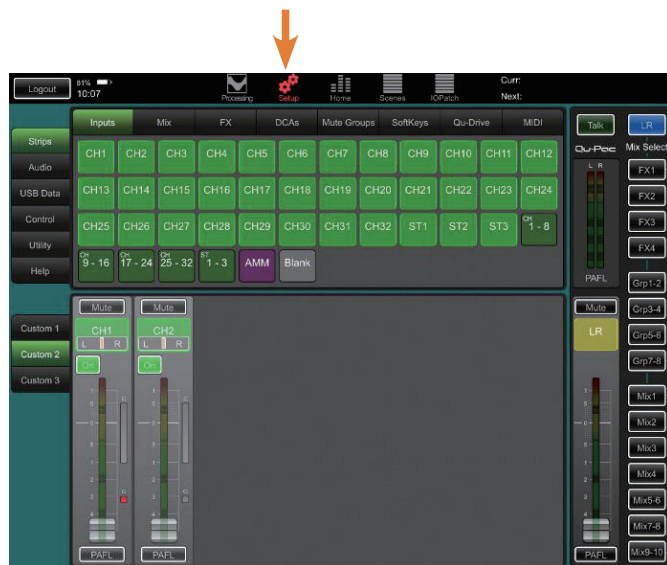
Mute Groups - アサインされたチャンネルのミュートを制御します。ストリップをタッチすると、アサインとネーミングのページが表示されます。

ソフトキー - ユーザーが割り当て可能な 15 個のキーがあります。現在の機能はラベルで表示されます。ストリップをタッチするとアサインページが表示されます。ホイールをスクロールして、キーに割り当てる機能を選択します。Apply をタッチして確定します。

カスタムレイヤー - Setup 画面を使用して、3 つのカスタムレイヤーを割り当てることができます。これらのレイアウトは iPad に保存され、ミキサーに影響を与えることはありません。

1.3 セットアップ画面

セットアップ機能およびユーザー設定にアクセスします。左側の縦のタブを使用して、さまざまなセットアップの種類を選択します。上部の水平タブで、関連するオプションを選択します。



ストリップ

最大 3 つのカスタムレイヤーにそれぞれ最大 32 のストリップを配置し、独自のフェーダーレイアウトを作成できます。チャンネル、ミックス、FX、マトリックス、ミュート、DCA グループ、ソフトキーを自由に組み合わせたり、ブランクを追加してチャンネルグループを分けたりすることも可能です。Inputs AMM の項目を追加すると、自動マイクミキサーの設定に素早くアクセスできるようになります。ボトムパネルで Custom 1、2、3 のいずれかを選択します。

上部のパネルから割り当てたいチャンネルの種類を選択します。指でチャンネルを好きな場所にドラッグ & ドロップします。カスタムレイヤーにドラッグして追加します。削除するには、レイヤーから上にドラッグします。

チャンネルを挿入するには、前面に配置したいストリップの上にドラッグします。チャンネルを最後に追加するには、ウィンドウの右側で最後までスクロールするまでドラッグして指を離します。空いたスペースにチャンネルをドロップします。カスタムレイヤーにあるストリップの位置を変更するには、まずストリップを青くハイライトされるまでタッチし、左右にドラッグして移動します。

" Blank " アイテムをタッチしてドラッグすると、フェーダーストリップの間に空白のスペースを追加することができます。

タッチしたチャンネルをドロップすると、その位置は黄色にハイライトされます。ストリップから削除されようとしている場合、またはレイヤーが一杯の場合 (32 ストリップ) には、赤色にハイライトされます。

左右にスワイプすると、カスタムストリップを順番を変えずにスクロールすることができます。

i : Qu-Pad でミキサーのカスタムレイヤーにアクセスしたい場合は、iPad の設定画面「Qu-Pad」項目の「Custom tab 1 follows Qu custom layer」オプションをオンにします。

オーディオ

PAFL - PAFL モニタリングシステムをどのように動作させるかを選択します。入出力を PFL (pre fade listen) または AFL (after fade listen) に設定できます。一度に複数のチャンネルを聴きたい場合は、additive モードを選択します。PAFL を選択しない場合、LR のメインミックスをモニターに送ります。ヘッドホン音を音源からの距離に合わせたい場合は、ディレイを設定します。PFL のレベルが AFL の平均レベルより大きいと感じたら、PFL をトリミングします。

トークバック (Qu-SB では使用できません) - このページでは、トークバックマイクのプリアンプ、HPF を調整し、任意の組み合わせのミックスにアサインすることが可能です。オプションボタンをタッチして、Talk スイッチの動作をモメンタリまたはラッチから選択します。ラッチングは、スイッチトークバックマイクを使用する場合に便利です。

SigGen - スピーカー・テストや信号レベルの調整に使用するシグナル・ジェネレーターです。Mix、Group、LR、Matrix アウトのどの組み合わせにもパッチングできます。

ピンクノイズは、スピーカーのテストに最適なソースです。すべての周波数において、1 オクターブあたり同じエネルギーを発生させます。すべてのスピーカードライバが動作していることを確認し、位相や極性に問題がないことを確認するために使用します。

正弦波は、ミキサーと他のオーディオデバイス間のレベル合わせに理想的な、安定したピュアなトーンを提供します。

AMM - オートマチック・マイク・ミキサーは、テーブルを囲んで複数のマイクを使用する会議やセミナーなどのスピーチ用途に設計されています。Qu の AMM は、これらのマイクのレベルを自動的に引き継ぎ、明瞭度を向上させ、多くのオープンマイクによって引き起こされるフィードバックのリスクを低減できます。

AMM をセットアップするには、まずミックスマスターフェーダーを下げます。PAFL を使用して各マイク信号をチェックし、マイクから想定される距離でスピーチのメーターを正しく読み取ることができるようにプリアンプゲインを設定します。この画面で、関連するマイクチャンネルをオンにします。フェーダーレベルは「0」のオープンポジションにジャンプします。次に、ミックスのマスターフェーダーをゆっくりと持ち上げてください。他のオーディオソースをミキシングしている場合は、スピーチマイクのマスターフェーダーとして DCA またはオーディオグループを使用することをお勧めします。

AMM と関連するチャンネルストリップをカスタムレイヤーにアサインすると、スピーチのミキシングに必要なすべてのコントロールに即座にアクセスすることができます。

AMM の動作と使用方法については、『Qu Mixer Reference Guide』を参照してください。

コントロール

ネットワーク - このページを使用して、ネットワーク上で識別するための IP アドレスとユニット名を設定します。ミキサーはデフォルトで DHCP に設定されており、ワイヤレスルーターが自動的にミキサーにアドレスを割り当てようになっています。デフォルトのマニュアルアドレスは 192.168.1.60 です。

MIDI - USB B ポートでの通信に使用する MIDI チャンネルを設定します。

フットスイッチ - Qu-SB は、1 つまたは 2 つのフットスイッチ (チップ = FSB、リング = FSA) で動作する TRS ジャックソケットを装備しています。スイッチは、ジャックのチップまたはリングの接点をスリーブに短絡させることで動作します。メニューをスクロールすることで、それぞれに異なる機能を割り当てることができます。Apply をタッチして確定します。フットスイッチを接続し、Calibrate にタッチして、フットスイッチの機能を設定します。画面上の指示に従います。'Soft latch' は、ラッチ機能にモ-

メンタリスイッチを使用することができます。Apply をタッチして確認します。

i：ミキサーを起動する前にフットスイッチを接続し、ジャックを押し込んでフットスイッチの機能が作動するのを防ぐことをおすすめします。

USB データ

Scenes - Qu-Drive ポートに接続された USB デバイスとミキサー間で Qu シーンを転送します。

Libraries - Qu-Drive ポートに接続された USB デバイスとミキサー間で Qu ライブラリのプリセットを転送します。

Shows - ショーはすべて（現在の設定、ユーザー設定、すべてのシーンとライブラリ）を Qu-Drive ポートに接続された USB デバイスにアーカイブします。ショーは USB に直接アーカイブされ、ミキサーに保存されることはありません。

i：USB デバイスの Qu ディレクトリやファイル名を移動したり編集したりしないでください。

ユーティリティ

Diagnostics - ミキサーに関する情報を一覧表示します。

Qu-Drive - このページでは、データ転送、ステレオ / マルチトラック録音、ファームウェアのアップデートに使用する USB デバイス（キーまたはハードドライブ）をチェックし、フォーマットできます。このページを使用して一度フォーマットすると、再度フォーマットする必要はありません。

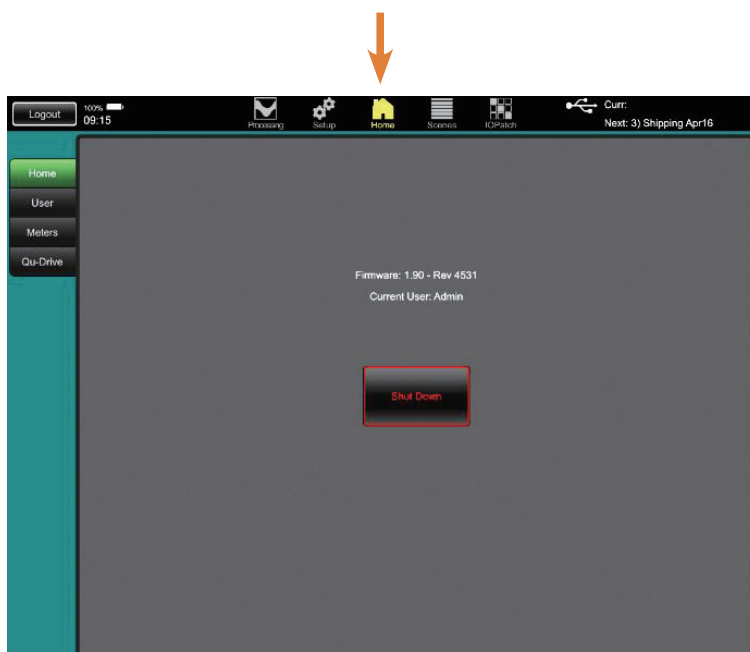
i：USB デバイスをフォーマットすると、その時点のデータはすべて消去されます。データを保存したい場合は、必ず他の場所にアーカイブしてください。

ファームウェア - ミキサーの操作ファームウェアは、Qu-Drive ポートに接続された USB デバイス（キーまたはハードドライブ）を使用して更新することができます。このページでは、ミキサーで現在動作しているファームウェアのバージョンを確認できます。ダウンロード可能な最新バージョンは、Allen & Heath 社の Web サイトでご確認ください。

Qu-Pad とミキサーのファームウェアに互換性がない場合、フロントパネルのスイッチを使用して Qu-SB をアップデートできます。ログインページで利用できる Connection Help の Firmware Update のセクションを参照してください。

1.4 ホーム画面

ユーザーログインと権限、Qu-Drive のオーディオ、メーターにアクセスし、ミキサーをシャットダウンします。



Home - シャットダウンボタンをタッチすると、データ転送や USB オーディオなどの処理を安全に終了して、電源を切ることができます。

User - 3 つのユーザープロファイルが用意されており、選択した機能を保護します。礼拝堂でのボランティアオペレーターや、会場を訪れるゲストエンジニアなど、ユーザーアクセスを制限することができます。

- **Admin** - すべての機能へのフルアクセス。これは工場出荷時の設定であり、ユーザープロファイルが必要ない場合の通常の設定です。Admin は、他のユーザーのパスワードと権限を設定することができます。
- **Standard** - 操作のみ。ユーザーはセットアップからロックアウトされます。管理者は、どのチャンネルとミックスにアクセスできるか、ストリップレイアウト、パッチング、シーンの範囲を日常的またはゲストオペレータに許可するよう設定します。
- **Basic** - フェーダーとミュートのみ。非常にシンプルなレベルコントロール用です。管理者はシーンへのアクセスをなし、または範囲に設定できます。
- **Qu-You** - 管理者は Qu-You パーソナルモニターアプリのユーザーのパスワードを設定することができます。これは Qu-Pad アプリのログインではありません。
- **Qu-Control** - 管理者は Qu-Control アプリのユーザーのパスワードを設定することができます。これは Qu-Pad アプリのログインではありません。

ユーザーを変更するには、タッチしてユーザーを選択し、ログインボタンにタッチします。パスワードが設定されている場合は、入力するよう促されます。

i : Qu-SB ミキサー（サーフェスなし）を使用していて、「カスタムレイヤーのみ」のユーザー権限を設定したい場合は、iPad 設定画面「Qu-Pad」項目の「Custom tab 1 follows Qu custom layer」を ON にします。

i : システムのハードリセットを行うと、すべての権限がリセットされ、パスワードがクリアされます。

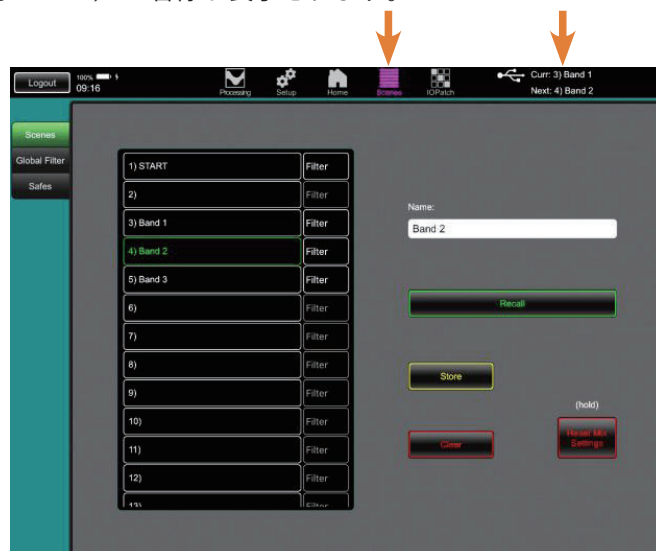
Meters - このページでは、すべてのチャンネルとマスターメーターの概要が表示され、チャンネル名、ミュート、PAFL の状態も表示されます。画面下部には、ピークバンドの赤色ドット表示の RTA が表示されます。RTA は、現在選択されている PAFL 信号に追従します。

Qu-Drive - ステレオまたはマルチトラックオーディオの WAV ファイルを USB ハードドライブに直接録音または再生することができます。画面上部はステレオ、下部はマルチトラックのコントロールが表示されます。Qu は Qu-Drive に 18 トラックを記録します。しかし、同時に USB B ポートに接続された PC または Mac に最大 32 トラックをストリーミングすることができます。Qu-Drive の使用に関する詳細については、Qu Mixer リファレンスガイドを参照してください。

i : USB ドライブはまず、**Setup** ユーティリティを使用して Qu ミキサーでフォーマットする必要があります。

1.5 Scenes 画面

Qu ミキサーのシーンメモリの保存と呼び出し、呼び出しフィルタの設定、シーン呼び出しによるチャンネルの上書きを防止することができます。上部のツールバーには、Current（最後にリコールされたシーン）と Next（現在ハイライトされてリコール可能なシーン）の名称が表示されます。



Scenes - このページでは、100 個の Qu シーンのリストを表示します。上下にスワイプしてリストをスクロールします。タッチして選択します。ミキサーと同じように、シーンの保存、名前付け、呼び出し、クリアを行うことができます。シーンの呼び出し、上書き、クリアを行おうとすると、確認のポップアップが表示されます。

シーンの横にあるボタンをタッチすると、Recall Filter のポップアップが表示されます。選択したパラメータをブロックして、そのシーンがリコールされたときに上書きされないようにすることができます。

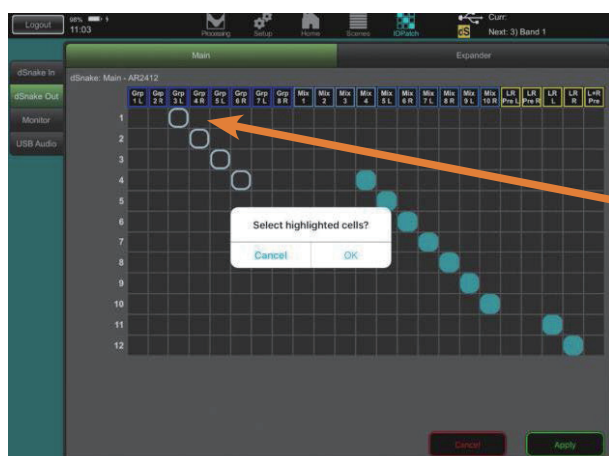
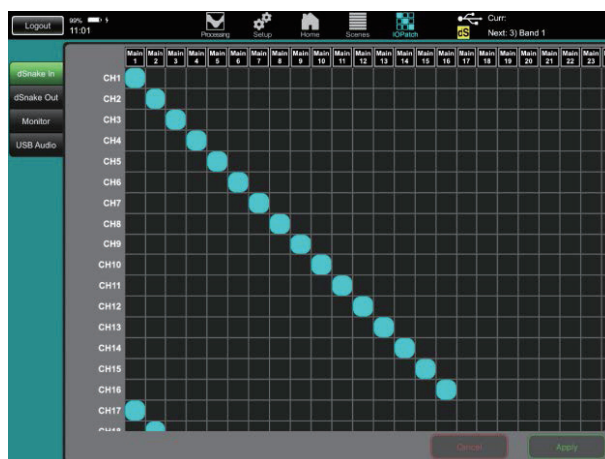
すべてのライブミキシングパラメータを、新しいショーやユーザーに対応するデフォルトのスタートポイント（ゼロ・ザ・ボード）にリセットしたい場合は、Reset Mix Settings ボタンをタッチしたままにしてください。これはすべてのプロセッシング、レベル、アサイン、パッチングに影響しますが、ユーザー設定とメモリには影響しません。詳細は、『Qu Mixer Reference Guide』を参照してください。

Global Filter - このページでは、全チャンネルの選択されたパラメータをブロックし、どのシーンが呼び出されたときでも上書きされないようにすることができます。例えば、カスタムレイヤーやソフトキーの設定を、複数のバンドをサウンドチェックした後に設定しても、変更されないように保護することができます。

Safes - このページでは、選択したチャンネルの全パラメータを保護し、シーンが呼び出されたときに上書きされないようにすることができます。例えば、次のバンドの設定を呼び出す際に、BGM とアナウンサーのマイクを保護することができます。

1.6 IO パッチ画面

ミキサーの入出力ソケットをパッチし、ME パーソナルモニターシステムや USB レコーディングに送る信号を選択できます。



パッチングのページでは、ソース（上）とデスティネーション（左）を示すグリッドが表示されます。デフォルトでは、通常 1 対 1 のマッピングです。

グリッドのセルにタッチし、"Apply" をタッチすると、パッチが変更されます。

セルをタッチしたまま、指を上下にドラッグすると、ソースとデスティネーションの 1 対 1 マッピングを素早くパッチすることができます。

セルをタッチしてから指を上下にドラッグすると、1 つのソースから多くの目的地にすばやくパッチを適用できます。

画面をピンチして拡大・縮小します。

Surface (Qu-SB では使用不可) - オプションのリストをスクロールして、ミキサーの Alt Out と AES Out ソケットのソースを選択します。

dSNAKE In - リモート AudioRack ソケットをミキサーチャンネルにパッチします。1つのソケットを1つまたは複数のチャンネルにパッチできます。1つのチャンネルにパッチできるソケットは1つだけです。

dSNAKE Out - Qu ミックスをリモート AudioRack 出力ソケットにパッチします。1つのミックスを1つまたは複数のソケットにパッチングすることができます。

Monitor - Qu 信号 (チャンネルダイレクト出力とミックス) をオプションの ME パーソナルモニタリングシステムチャンネルにパッチします。ME システムはミキサーの dSNAKE ポートを介して最大 40 チャンネルを受信できます。

この目的のためにダイレクトアウトを Post-PEQ と Follow Mute に設定するのが一般的です。グローバルダイレクトアウトの設定は、チャンネルの Preamp Routing ページで行います。

USB Audio - Qu-Drive ステレオおよびマルチトラックレコード USB ドライブ、そして USB B ストリーミング出力に Qu 信号をパッチします。これらは以下のように共有された同じパッチを使用します。

- Qu-Drive マルチトラック = トラック 1 ~ 18
- Qu-Drive Stereo = トラック 17, 18
- USB B ストリーミング = トラック 1 ~ 32

チャンネルセンドのデフォルトソースはインサートセンド (無加工) です。信号パスの別のポイントを録音したい場合は、オプションボタンを使ってこれをダイレクト出力に変更できます。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ALLEN & HEATH

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

202204